

# 「どの痛み、湿疹、目のかゆみが

寝屋川の廃プラスチック処理工場周辺地域が大変なことになっている。のどの痛みや湿疹、目のかゆみを訴える人々が続出し、杉並病ならぬ「寝屋川病」の様相を示しているとか。おりしも吹田市では市始まって以来の廃プラスチック処理工場建設が進んでいる。本当に大丈夫なのか？現地からレポートします。

「あの建物が問題の業者、リサイクル・アンド・イコール社。その向こうは4市共同リサイクル工場です。これら2つの廃プラスチック工場の後ろは第2京阪道路が建設中。この地域は廃

「廃プラスチックと排ガスの複合汚染にさらされるのです」。本日私たちを案内してくれるのは、「廃プラスチック処理による公害から健康と環境を守る会」の長野晃さん。4市共同リサイ

クル工場とは、寝屋川市、枚方市、交野市、四条畷市。つまりこの地域の人々にとっては、他所から運び込まれる廃プラスチックに悩み続けることになる。

「向こうからハスキー犬を連れて散歩する女性がやつてくる。長野さんの知り合いだ」「最近身体の調子はどうですか？」私も調子悪くなっています」「私も調子悪くなつたけど、この子が」とハスキードogを指差す。「自から血が出て、獣医を見せたら「お

ンや」とゼンソクになつた犬や猫も多いし、カラスも全然いてへんようになつたね」「まず動物に現れるんですよ、それから人間ですね」と長野さん。

イコール社を見下ろす丘の上に登る。「あつ、臭いますね」甘酸っぱいトイレの芳香剤のようなにおい。「廃プラスチックを圧縮したり、折れ曲げたりするときに出るにおいです」。イコール社の社屋には黄色い袋が積み上げられている。の中に廃プラスチックが詰め込まれている。「業者は廃プラスチックが詰め込まれて、一重に儲ける仕組みがあります。それをリサイクルし、「パレット」にして売ってまた儲ける、イコール社は年間約11億円もの処理費用を行政から、そして近隣住民の健康被害など考

えず、強引に操業した業者に操作させないような指導をするべきだと思うのだが。

「ある日、一日中「ミヅサ

ンや」とゼンソクになつた犬や猫も多いし、カラスも全然いてへんようになつたね」「まず動物に現れるんですよ、それから人間ですね」と長野さん。

体調を崩してしまって。でも不思議と旅行に行けばサッパリと治る。廃プラスチックの影響は、庭にキンカンの実がなるけど、今は鳥も食べに来な

りました。おばあちゃんも夜中セキが出て眠れなくな

になりました」

## 「寝屋川病」で大変だ！ 次は吹田市か？



廃プラ工場が操業して公害が広がっています、と訴える長野晃さん

1つの企業が廃プラ処理だけで

10数億円

## カラスも居なくなり、人間は、病院で点滴



処理工場に次々と運び込まれる廃プラスチック

いにおいがして、のどが痛くなり、咽れませんでした。翌朝、今度は目がはれて顔の形相が変わってしまいました。病院へ行くとすぐに点滴。39度近い熱が出て、その日から毎日病院へ通っています」

被災者が集団発生している。これはもう「寝屋川病」だ。住民たちは操業差止めを求める裁判を起こしている。判決は未春。人間の命に関することだけに、事態

は深刻。本来は寝屋川市と大阪府が、この業者を規制するべきだったと感じる。さてわが吹田市も、東御旅町に廃プラスチック処理施設が建設されようとしている。この工場のすぐ裏には保育園、周囲は工場跡地に建設されたマンションだ。

「廃プラスチック処理施設反対！」の声もむなしく、吹田市長はこの業者に建設許可を下ろし、操業はすでに秒読みに入っている。今からでも遅くない。吹田市として調整に入り、業者に対して、操業させないような指導をするべきだと思うのだが。

公民館に近隣住民のみな

出来上がっているのです。廃プラスチック処理で年間10数億円。近隣住民の健康被害など考

えず、強引に操業した業者に操作させないような指導をするべきだと思うのだが。



咳が止まらない、のどが痛い、鼻水が；住民たちは日々に体調不良を訴えた



吹田でも、廃プラ工場が作られてしまった。  
寝屋川のようにならなければよいが…

豊津第一小学校に立てられた祈念碑。台風の怖しさを子どもたちに伝えがれている。



## 室戸台風の児童遭難

### 勝手に吹田遺産 その5

昭和9年9月21日の朝、巨大な室戸台風が大阪をおそった。いまのような天気予報は無く、大阪測候所（現在の気象台）でも、上陸する予測が立てられたのが20日の夜中だった。明け方の小雨天気があつと言つまに風速60メートルの暴風雨に変わり、高潮をともなつて大阪に大災害をもたらしたのだ。

吹田ではこの台風で岸辺小学校と豊津小学校の木造2階建て校舎が一瞬にして倒壊、岸部小では28人、豊津小では51人の児童と2人の教師が犠牲となつた。

現在南吹田に住むYさんは当時、豊津小で校舎の下敷きになつて救出された児童の1人である。「うる覚えだけれど」と言いながら、その時の恐怖を語ってくれた。

「僕は豊津小学校の1年生だった。あの日は朝から小降りの雨が降つていて、村から4人で学校へ行つた。校門に入る頃は本降りになつた。

室戸台風は大阪府下で1639人の死者を出した。その内児童、生徒676人。教師が18人。大阪城公園にある教育塔は、この台風での犠牲をきっかけに、教育現場で倒れた児童と教職員を祈念する塔として建てられた。